

## 【授業科目】解剖組織学実習

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
杉浦 諭	1年次前期	必修	1	45	実習	あり	卷末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)	<p>解剖組織学は人体の基本的構造を知るための最も基礎的な学問であるとともに、医療系専門科目を学ぶにあたり、重要な科目でもある。解剖組織学実習では正常な人体の形態と基本的な構造を細胞から組織、器官、器官系、更に組織構築について実習を通して教授する。人体模型等を用いて、人体における各臓器の位置関係、各臓器の外観や肉眼的な構造を理解しながらスケッチする。具体的には、骨格系、筋系、心臓、胸部・腹部、脳について模型を用いスケッチしながら、理解する。また、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、神経系など各臓器の組織標本切片を光学顕微鏡で観察し臓器の特徴のみならず、各臓器の構成細胞などの特徴まで理解しながらスケッチする。</p> <p>*実務経験を持つ教員が授業を進める。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正常な臓器の形態と基本構造、および特徴を説明することができる。</li> <li>・正常な組織の基本構造と特徴を説明することができる。</li> <li>・実物観察を通して、主要な器官を組織像から同定することができる。</li> </ul>							
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造と機能の両面の理解が必要となるため、事前に、計画されている該当部位について解剖組織学や生理学の復習を行い実習に臨むこと(60分)。</li> <li>・実習内容で不明な点は、実習中に明確にするよう努めること。</li> <li>・授業計画に記載のない泌尿器系、生殖器系等についての実習も行います。</li> <li>・スケッチブック(A4サイズ)と色鉛筆を使用します。</li> </ul> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 人体模型と標本の観察:各臓器・器官の配置と相互関係</p> <p>第2・3回 骨格模型による骨格全体の構成、観察とスケッチ</p> <p>第4・5回 筋模型による観察とスケッチ</p> <p>第6・7回 心臓模型・胸・腹部臓器模型・脳模型による観察とスケッチ</p> <p>第8・9回 顕微鏡による循環器系組織の観察とスケッチ</p> <p>第10・11回 顕微鏡による呼吸器系組織の観察とスケッチ</p> <p>第12・13回 顕微鏡による内分泌系組織の観察とスケッチ</p> <p>第14・15回 顕微鏡による神経系組織の観察とスケッチ</p>						全て 杉浦	
評価方法 評価基準	<p>成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。          学期末試験 50% レポート(スケッチを含む) 50%</p>							
教科書	<p>最新臨床検査学講座 解剖学 (医歯薬出版)</p> <p>入門組織学 (南江堂)</p> <p>必要に応じてプリントを配布します。</p>			参考書等		なし		
学生へのメッセージ	<p>スケッチによる実習の目的は、組織や細胞の特徴を理解することと同時に、形態学を学ぶ上で必要な「観察するチカラ」を養うことにあると考えています。美しいスケッチを目指す必要はありませんが、後に学ぶ病理学等の基礎にもなりますので、しっかり取り組んでほしいです。</p>							